



二俣川小だより

8月号

横浜市立二俣川小学校

令和2年7月31日

校長 泉 太郎



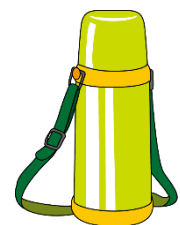
短い夏季休業は「クーリングブレイク」

校長 泉 太郎

関東地方はとうとう梅雨が明けないまま8月を迎えることになりそうです。新型コロナウイルス感染症による3か月に渡った一斉臨時休業中の学習をはじめ様々な教育活動を補うために、今年度は夏季休業が短縮され、横浜市立学校では、明日8月1日（土）から8月16日（日）までの16日間となります。いつもの夏季休業であれば、長い休みを利用し、帰省をしたり普段ではできない取組を計画されたりするご家庭もあると思います。しかし、今年は短い期間であること、また、感染症拡大がなかなか収まらないことから、どのように過ごすか迷われているご家庭も多いのではないのでしょうか。

6月1日に学校が再開してから約2か月が経ちました。子どもたちの様子を見ると、1年生はひらがなやたし算など、初めての学習に目を輝かせて取り組み、また、初めての給食は「おいしい!」と嬉しそうに食べていました。6年生は、まだまだ活動できる場面は少ないものの、なかよし活動や委員会活動で、最高学年としてリーダーシップを発揮しています。2年生から5年生も落ち着いて学習や活動に取り組む姿が見られました。しかし、学校再開後の約2か月を終え、少し疲れも出てきているかなと感じることもありました。

サッカーの試合で「クーリングブレイク」というものがあります。（細かい基準はありますが）熱中症等を避けるために、気温が高い中で試合をしているときに、前後半それぞれの間に選手が水分を補給する時間を設けるものです。私は今回の夏季休業は「クーリングブレイク」と考えています。子どもたちにはできるだけ生活リズムを崩さないまま、夏季休業を利用し、身体をしっかり休め、ご家庭を中心に普段できないことに取り組み、心身ともにリフレッシュする期間としてほしいと思います。そして暑さが予想される8月17日（月）の学校再開に備えてほしいと思います。保護者の皆様には、夏季休業あけもお子さんが元気に学校生活をスタートさせることができるよう、生活リズムの維持や健康管理にご協力ください。



保護者の皆様、地域の皆様には、感染症拡大防止のために学校が様々な取組を進める中、ご理解・ご協力をいただき心より感謝いたします。感染症は予断を許さない状況が続いていますが、学校は、今後も子どもたちの健康・安全を第一に充実した教育活動を進めていきたいと考えています。また、保護者の皆様にも少しずつ、学校に来て子どもたちの様子を見ていただく機会を設けていきたいと計画しています。どうぞよろしくお願いいたします。

8月17日、子どもたちに再開できることを職員一同楽しみにしています。

